

平成 26 年度「大分市中心部における歩行者通行量調査」(結果)について

平成 27 年 3 月
商工労政課

1. 調査目的

中心市街地における歩行者通行量を把握することにより、「第2期大分市中心市街地活性化基本計画」(以下、第2期認定基本計画)における活性化目標として掲げている「歩行者通行量」の経年検証を行う。また、歩行者や通行の特性を把握し、今後の活性化施策検討のための基礎資料とする。

2. 沿 革

昭和 40 年から隔年で実施しており、今年度で第 34 回目

※ 中心市街地活性化基本計画における定期的なフォローアップ資料とするため、平成 20 年度より毎年実施

3. 調査方法

〈歩行者通行量調査〉 調査員による定点観測にて実施 (中心市街地 41 地点)
 〈中心市街地アンケート調査〉 中心市街地来街者に対し調査員による聞き取りにて実施 (中心市街地 16 地点、調査総数:2,395 件)

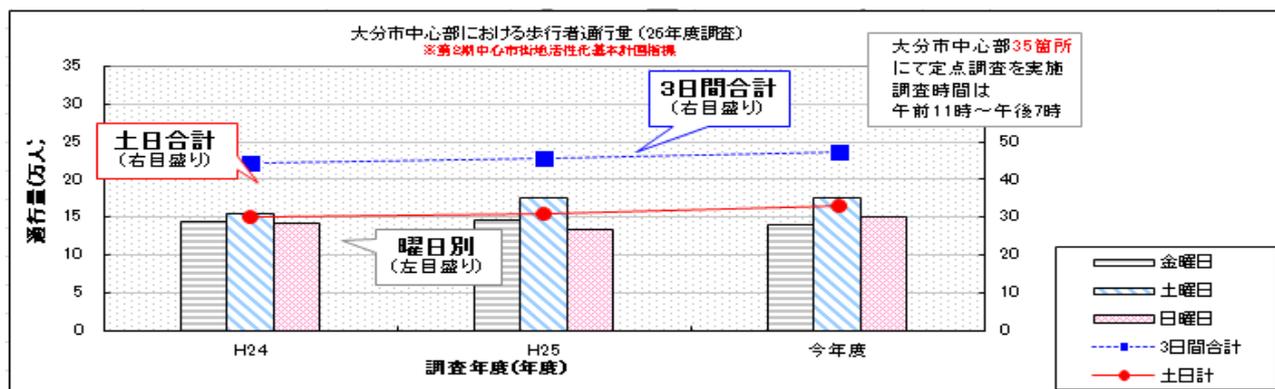
4. 調査日時 平成 26 年 11 月 14 日(金) 11:00~19:00 天候[曇り時々晴れ]
 11 月 15 日(土) 11:00~19:00 天候[晴れ]
 11 月 16 日(日) 11:00~19:00 天候[曇り]

5. 調査結果 3 日間合計(35 地点合計) 471,416 人 (前年比 103.3%)
 評価指標(35 地点土日合計) 329,781 人 (前年比 106.5%)
 ※評価指標＝認定基本計画の数値目標(35 地点の土日 2 日間通行量合計)
 ⇒ 数値目標:350,000 人(平成 29 年度)

〈通行量〉

大分市中心部における歩行者通行量(※35箇所合計)【第2期中心市街地活性化基本計画 指標】

	金曜日	土曜日	日曜日	3日間合計	前年比	土日計	前年比
H24	145,380	156,457	142,795	444,632	-	299,252	-
H25	146,703	175,950	133,810	456,463	102.7	309,760	103.5
今年度	141,635	177,447	152,334	471,416	103.3	329,781	106.5

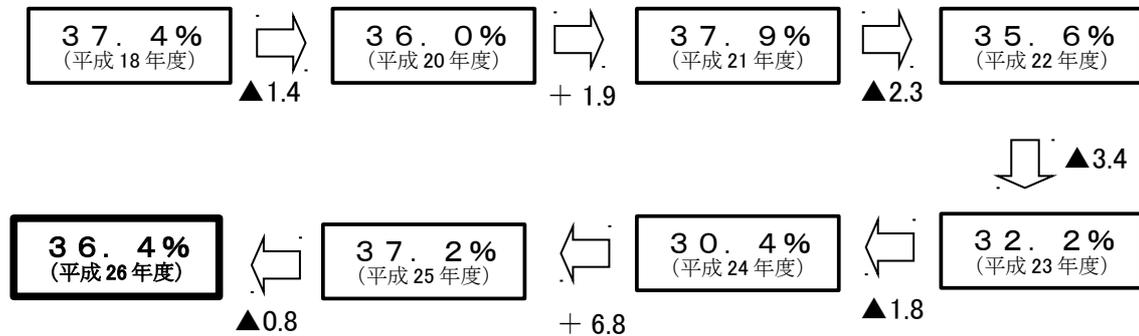


〈滞在時間〉

滞在時間が3時間以上の割合(アンケート調査より) 36.4%

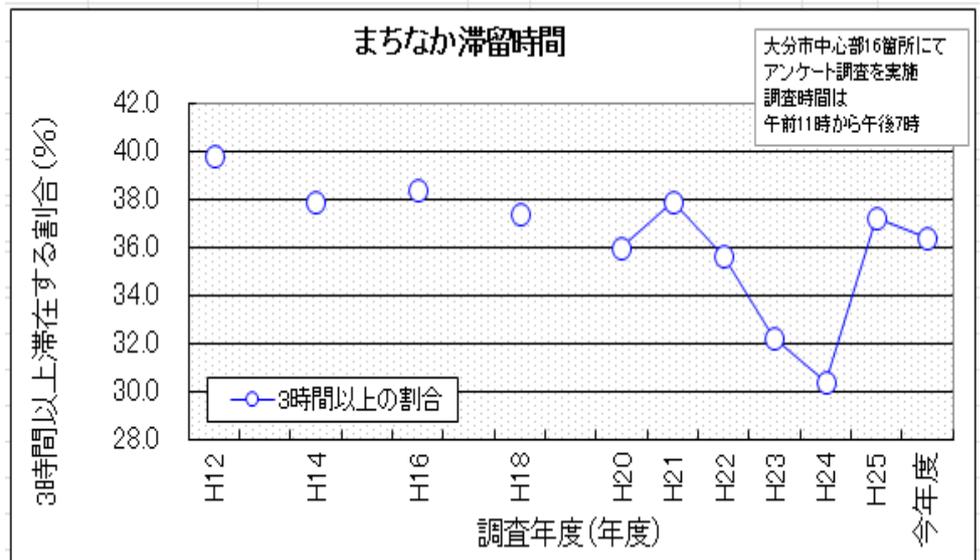
※滞在時間=認定基本計画の数値目標(アンケート回答者のうち、中心部における滞在時間が3時間以上の人の割合)

□数値目標=40.0%(平成29年度)



「まちなか滞在時間」の経年変化(平成12年度以降)

まちなか滞留時間	
(3時間以上滞在するひとの割合)	
年度	3時間以上の割合
H12	39.8
H14	37.9
H16	38.4
H18	37.4
H20	36.0
H21	37.9
H22	35.6
H23	32.2
H24	30.4
H25	37.2
今年度	36.4



〔調査結果の概況〕

①歩行者通行量調査

本調査は、第2期大分市中心市街地活性化基本計画に掲げている35地点に加え、市道中央通り線の横断6箇所を加えた合計41地点において歩行者通行量調査を実施した。

中心市街地活性化基本計画指標の35地点の土日2日間の合計は、前回調査と比べ20,021人(6.5%)増となる、329,781人となっている。曜日別では、土曜日は前年比で1,497人増(0.9%)で、日曜日は前年比で18,524人(13.8%)の増加となっている。

また、41地点の曜日別調査では、金曜日は前年度調査より3.8%減の161,458人、土曜日は1.3%増の202,897人、日曜日は13.3%増の175,040人で、三日間合計16,902人(3.2%)増の539,395人となっている。増加地点数は、金曜日は14地点、土曜日は20地点、日曜日は33地点となっており、三日間合計で増加している地点は26地点で、全体の63.4%に達しており、ガレリア竹町エリア(前年比114.5%)やセントポルタ中央町エリア(前年比105.9%)、府内五番街エリア(前年比112.7%)などとなっている。

一方、ふないサンサン通りエリアや、赤レンガ・中央通りエリアの「地点17:ゼウス前(スターバックス前)」や「地点18:晃星堂本店前」など、15地点が前年度よりも減少した結果となっている。

今年度の調査により、二年連続して35地点及び41地点の三日間合計の増加が見られたことは、中心市街地活性化に向けた施策が着実に進捗していると考えられる。

②アンケート調査

中心市街地活性化基本計画の目標指標のひとつである「まちなか滞在時間(3時間以上の人の割合が40%)」について、中心部16地点で聞き取りによる調査を行っている。

3時間以上のまちなか滞在時間の割合は経年的に減少を続けていたが、25年度調査では6.8ポイント増加(24年度対比)し37.2%となっていたが、今年度調査では0.8ポイント減少(25年度対比)し36.4%となった。

調査地点別に滞在時間をみると、全体的に3時間以上滞在した人の割合が高くなっており、活性化目標である40%を超えた地点は5地点(中央通り、フォーラス、大分駅前、府内五番街、ふないアクアパーク)となっている。

また、ふないサンサン通り、外堀通り、大分駅前周辺の3時間以上滞在した人の割合は前年比で9.3~13.7%程度増加している。

年代別では、いずれの年代でも「3時間以上」が高い割合となっており、「3時間以上」が最も高い年代は10代(43.1%)となっていて、続いて20代(40.1%)、30代(37.2%)となっているが、70代以上が前年比で8.3ポイント増加(34.4%)してそれに続いている。

【参考資料】

歩行者通行量の経年変化(平成12年～25年)(中心市街地33地点)

大分市中心部における歩行者通行量(※33箇所合計)【第1期中心市街地活性化基本計画指標】								
	金曜日	土曜日	日曜日	3日間合計	前年比	土日計	前年比	
H12	185,454	239,797	234,437	659,688	-	474,234	-	
H14	168,499	187,398	187,621	543,518	82.4	375,019	79.1	
H16	153,610	176,604	172,498	502,712	92.5	349,102	93.1	
H18	156,181	162,760	164,073	483,014	96.1	326,833	93.6	
H20	149,266	161,752	156,535	467,553	96.8	318,287	97.4	
H21	163,371	172,524	144,116	480,011	102.7	316,640	99.5	
H22	138,668	163,130	155,052	456,850	95.2	318,182	100.5	
H23	122,218	153,958	137,577	413,753	90.6	291,535	91.6	
H24	133,069	143,992	131,162	408,223	98.7	275,154	94.4	
H25	133,242	158,878	117,631	409,751	99.0	276,509	94.8	

